

( 継続 )

## 2015年度 公益財団法人大塚敏美育英奨学財団 奨学生応募書類チェックリスト

No.15-

※上記空欄は当財団にて記入

カタカナ	
氏名	
生年月日	19 年 月 日生
昨年度 受付番号	No.14-

チェック欄	提出書類
1	奨学生願書 (当財団指定用紙を使用すること)
2	推薦状 (推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること) <sup>注1</sup>
3	写真1枚 (カラー、上半身正面で、応募前6ヶ月以内のもの、4.5×3.5cmを願書に貼付のこと)
4	成績証明書 (原本またはコピー) (履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付のこと) <sup>注2</sup>
5	在学証明書 (2015年4月1日以降のもの)
6	住民票 (2015年4月1日以降のもの) <sup>注3</sup> (コピー不可。記載内容が省略されているもの不可。外国人登録原票記載事項証明書の原本及びコピー不可。また、外国人登録証明書のコピーも不可)
7	他の奨学金及び研究助成金の有無 (2015年4月～2016年3月にかかる期間で受給が有る場合は、支給団体名、期間、金額等を証する写し)

注1・ 推薦者は、在籍校で専門授業や研究指導を請け負っている方のみ。

注2・ 在籍校で、合格・不合格の評価のみの成績証明書、または卒業まで評価が出ないものは、卒業した高校または大学の直近の成績証明書を添付すること。(母国の成績証明書可)

注3・ 外国人登録原票記載事項証明書、在留カードのコピーは不可。

2012年7月9日より「適法に3か月を超えて在留する外国人であって住所を有する者」について住民票が作成されているため、住民票以外のものは添付資料として認めません。

No. 15 —

## 奨 学 生 願 書

( 継続申請者 No.14- )

※上記空欄は当財団にて記入

写真貼付のこと  
(4.5×3.5cm)  
カラー・上半身近影  
6ヵ月以内のもの

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団

代表理事 大塚 一郎 殿

2015年 月 日

貴財団の奨学生として採用を希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

①	フリガナ		性別		年 齢	満 歳
	氏 名		男	②	生年月日	19 年 月 日
	(英語表記)				国 籍	
	(母国語表記)		女			
氏名 (アルファベット大文字) Family name/Surname (姓) , First name (名) Middle name						
③ 在籍機関	大学(院)名/機関名		学部・研究科		学科・専攻	
	学 年(該当する課程に○すること)		学 籍 番 号		指 導 教 官 名	
	学部 博士前期(修士に該当) 年 博士後期(博士に該当) (4年制)博士課程					
	日本への入国年月		入 学 年 月		卒 業 ・ 修 了 予 定 年 月	
	年 月		年 月		年 月	
④ 学歴及び職歴	年 月 ~ 年 月	学 歴(母国の最終学歴から記入)・職 歴				
	~					
	~					
	~					
	~					
	~					
	~					
	~					
⑤ 外国人留学生担当部署及び担当者名	大学(院)内の外国人留学生担当部署			担 当 者 名		
	課・センター					
	担当部署(担当者)の連絡先電話番号			担当部署(担当者)の連絡先Email		
	— —					

⑥ 本人現住所	〒 —				
	(自宅・学寮・アパート・その他 [ ])				
	携帯電話番号	電話番号(固定電話)			
	— —	TEL. — —			
	E-mail (PC) (※ 読みやすく書いてください)				
⑦ 母国の住所	〒 —				
	TEL. — —				
⑧ 家族構成 (父母・配偶者・子・兄弟姉妹)	氏名	続柄	年齢	勤務先/ 学校名	住所
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
⑨ 配偶者の収入	※以下は配偶者がいる場合のみ記入				
	奨学金受給の有無			有・無	
	支給団体名:				
	(月額・年額		円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)		
給与(アルバイト等も含む)		円/月 (職種: )			

⑩ 生活費	家賃		1ヶ月の生活費(食費・光熱費等、家賃も含む)	
	円/月		円/月	
⑪ 収入等	月收入(アルバイト、TA、RA等)			
	有 ・ 無	円/月	(職種: )	(労働時間: 時間/週)
	仕送り			
	有 ・ 無	円/月	(仕送り人続柄: )	
	現在受給中の奨学金 ※受給している場合は支給団体名、期間、金額等を証する写しを添付のこと			
	有 ・ 無	名称:	月額・年額	円(受給期間: 年 月 ~ 年 月)
	その他収入			
円/月 (内容: )				
⑫ 授業料	授業料	円/年		
	授業料の免除	確定 ・ 申請中 ・ 不合格 ・ 申請していない 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし		
	免除額	全額 ・ 半額 ・ ( )円		
⑬ 学業面	週に何日授業がありますか?		日	
	主に授業がある/研究をするのはいつですか?		昼間 ・ 夜間 ・ 半々	
	週に何日通学しますか?(授業・研究を含める)		日	
	土日祝は学校/研究室へ行きますか?		毎週 ・ 時々 ・ 休み	
	平均して何時～何時まで大学(研究室)にいますか?		時 ~ 時	
	現在受給中の研究助成金 ※受給している場合は支給団体名、期間、金額等を証する写しを添付のこと			
	有 ・ 無	名称:	円(受給期間: 年 月 ~ 年 月)	
	過去の研究助成金受給実績 名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間			
名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)				
⑭ 現在の奨学金併願状況	申請先 / 申請中・確定 / 月額・年額 (○で囲む)			
	名称:	(申請中・確定 / 結果発表: 月 日)		
	(月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)			
名称: (申請中・確定 / 結果発表: 月 日)				
(月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)				
⑮ 過去の奨学金受給実績 (当財団の受給実績がある場合は必ず記入してください)	名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間			
	名称:	(月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)		
	名称:	(月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ~ 年 月)		

※アルバイト等の収入や研究助成金の受給は可否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又は合理性に欠けると判断される場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

# 推薦状

---

被推薦者名 \_\_\_\_\_

上記留学生は貴財団奨学生として適格な人物と認め推薦いたします。

但し、奨学生として採用された場合は、貴財団の諸規程を遵守するよう指導いたしますと共に、もし、給付停止の要件に奨学生が該当したときは、速やかに、その旨を貴財団に連絡することを確約いたします。

2015年 月 日

(推薦者) 大学(院)名  
(機関名) \_\_\_\_\_

役 職  
\_\_\_\_\_

氏 名  
(ご署名) \_\_\_\_\_

印

電話番号  
\_\_\_\_\_

Email  
\_\_\_\_\_

※ 氏名欄(ご署名)は推薦者が自筆でご記入ください。代筆の場合は選考外とします。必ず推薦者自らが封筒に入れ密封したものを提出してください。

# 推薦理由

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

※ 被推薦者が当財団奨学生に採用されて実施した研究成果が論文発表された場合には、その論文別刷(コピー可)の1部を当財団事務局まで送付していただきますようお願いいたします。また、論文には当財団より支援を受けた旨を謝辞欄に明記するよう被推薦者にご指導をお願いいたします。



⑰ 留学の目的とそれに対する現在の進捗度	
⑱ 昨年の目標とその達成度	
⑲ 今年の目標	









② 資格・特記事項等	日本語能力検定 級( 年 月取得)										
	TOEICスコア 点( 年 月取得)、TOEFLスコア 点( 年 月取得)										
③ 振込先	フリガナ										
	口座名義人										
	銀行・ゆうちょ銀行等の預貯金口座										
					銀行 ・ 信用金庫 ・ 信用組合						本店 ・ 支店 ・ 出張所
	口座番号										

私は、奨学生願書に記入した内容および提出書類に虚偽のないことを、ここに誓います。  
また、本申請に関する個人情報を財団が事業の目的の範囲内で第三者に提供することに同意いたします。

署名:

印

印鑑をお持ちの場合は押印してください。

※出願書類に不備・不明な点がある場合、記載内容に虚偽があった場合には、選考から除外します。  
※採用後、記載内容に虚偽が発見された場合には、採用を取り消します。

☆ 記入上の注意 ☆

- ・ 推薦状以外、応募者本人が日本語もしくは英語の手書きで記入すること。  
英語の場合、日本語訳を添付すること(様式は問わない)。
- ・ 応募者が使用可能な言語で願書を記入すること(日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります)。
- ・ 黒インク又は黒ボールペンで記入のこと(フリクションペンの使用不可)。
- ・ 固有名詞はすべて正式名称とし、省略は一切しないこと。

なお、ご記入いただきました情報は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用いたしません。